

令和8年度 学校経営計画

教育目標（改定）五中との連携

豊かに感じ、よく考える子
仲良く助け合う子（重点）
心身をきたえ、ねばり強い子

目指す学校像

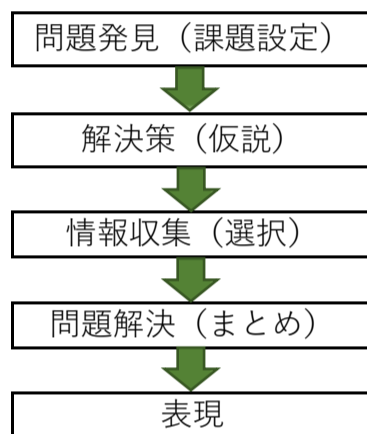
児童が「共に学び共に育つ」学校
保護者・地域に信頼される学校

目指す児童像

互いに認め合い、支え合い、高め合う児童

重点取組①

協働的問題解決型学習による情報活用能力の育成（継続）



左のようなプロセスを通して、児童が自力のみならず、協力しながら必要な情報を集めたり、精選したりしながら問題を解決する。また、解決したことを相手に分かりやすく表現できるようにする。このことにより、情報活用能力を向上させる。

（具体的方策）

- ペア（トリオ）学習・グループ学習を用いた学び合いの場を設定
⇒「分かった・できた喜び」「学ぶ楽しさ」を実感させる。
- 学校図書館・公立図書館を活用した調べ学習
⇒児童の実態に合った正しい情報の収集方法を身に付けさせる。
- タブレットの活用（2ndGIGAへの対応）
⇒より高度な情報の収集、アプリによる児童同士の情報共有、プレゼンテーション等の作成。

情報活用能力を支える基礎的・基本的な知識・技能の習得

- 朝学習、家庭学習の充実およびタブレット端末の活用
- 東京ベーシックドリル、全国学力学習状況調査過去問の取組
- 教科担任制（4～6年）の拡充による授業のさらなる充実
- 端末活用を通じた情報モラルの育成

重点取組②

豊かな心・人間性の育成

いじめ対応の強化

- 未然防止
・ 授業改善 ・ 「いじめは許さない。」空気の醸成
- ◎ 早期発見・解決
・ アンケート、アセスの実施（毎学期）
・ 日常的なかかわり（休み時間、給食）
・ 教育相談体制強化（児童、保護者）

道徳授業の充実

- 道徳授業地区公開講座の開催
（令和8年度テーマ「公正・公平、社会正義」）
- 校内研修体制の強化

特別支援教育のさらなる充実

- ひまわり学級と通常学級との交流および共同学習継続
- 特別支援教室「きらり」の円滑な移行
- 特支コーディネーターによる充実した相談体制の構築
- 副籍交流の実施

あいさつ運動の継続

- 全学年児童によるあいさつ運動の継続
- 児童会活動での取組強化
- 学級指導の充実

令和8年度 重点事業について

超過勤務時間縮減

- 教員全員が1か月の超勤45時間以内を100%達成に向けて。
- 繁忙期の授業カット。
 - 4年生の教科担任制導入。

開校50周年記念行事

- 記念行事を通じて身に付ける愛校心や地域を愛する心。
- 記念誌の作成
 - 開校記念式典、集会
 - 地域行事との連携（秋祭り、焼き芋会）
 - 卒業生、旧職員との交流

各種連携

- 小中連携（清瀬第五中学校）
- 地域連携
学校運営協議会、学校支援本部十小の会、ひまわり105、青少協、避難所運営協議会等。
- 行政等との連携
市役所、市教委、図書館、社会福祉協議会等

その他

- 学力調査、体力テストに向けた各種取組
- 図書館を使った調べる学習コンクールへの参加（2年生以上）
- 校舎外壁塗装、トイレ一部改修工事への対応